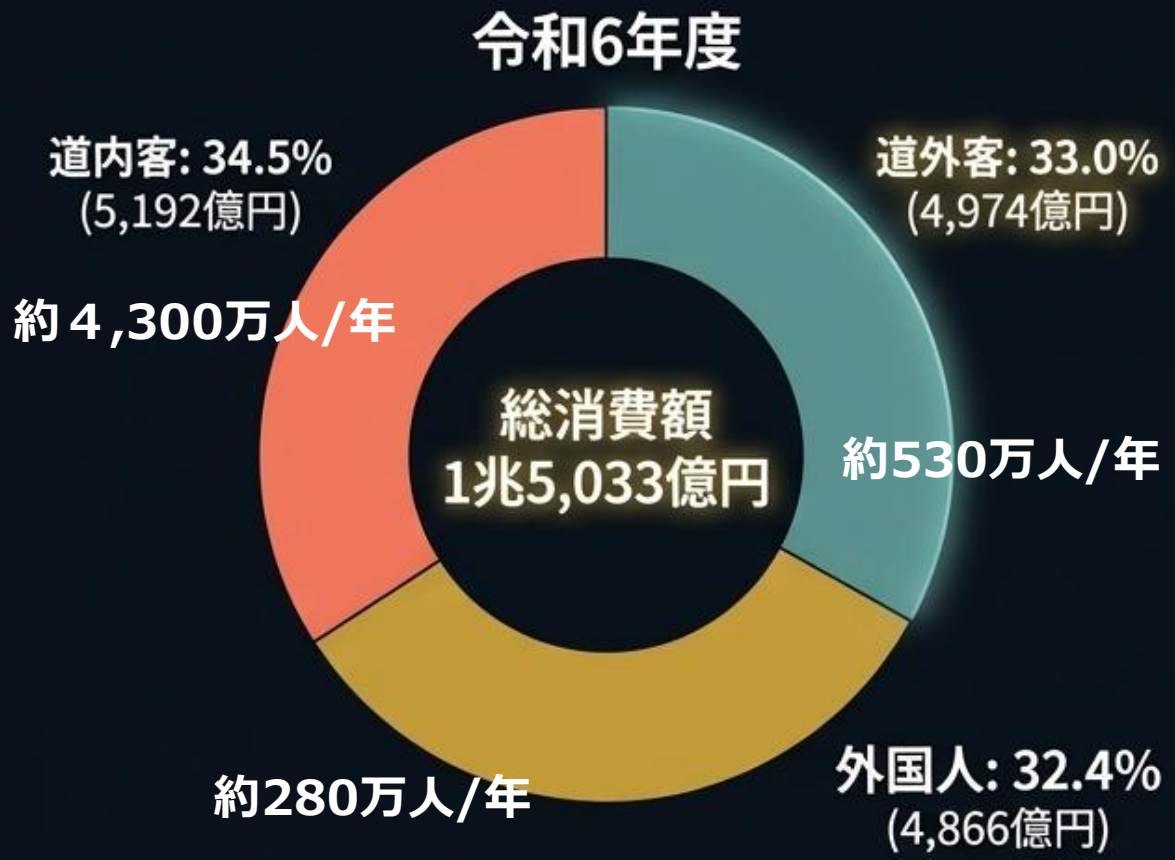
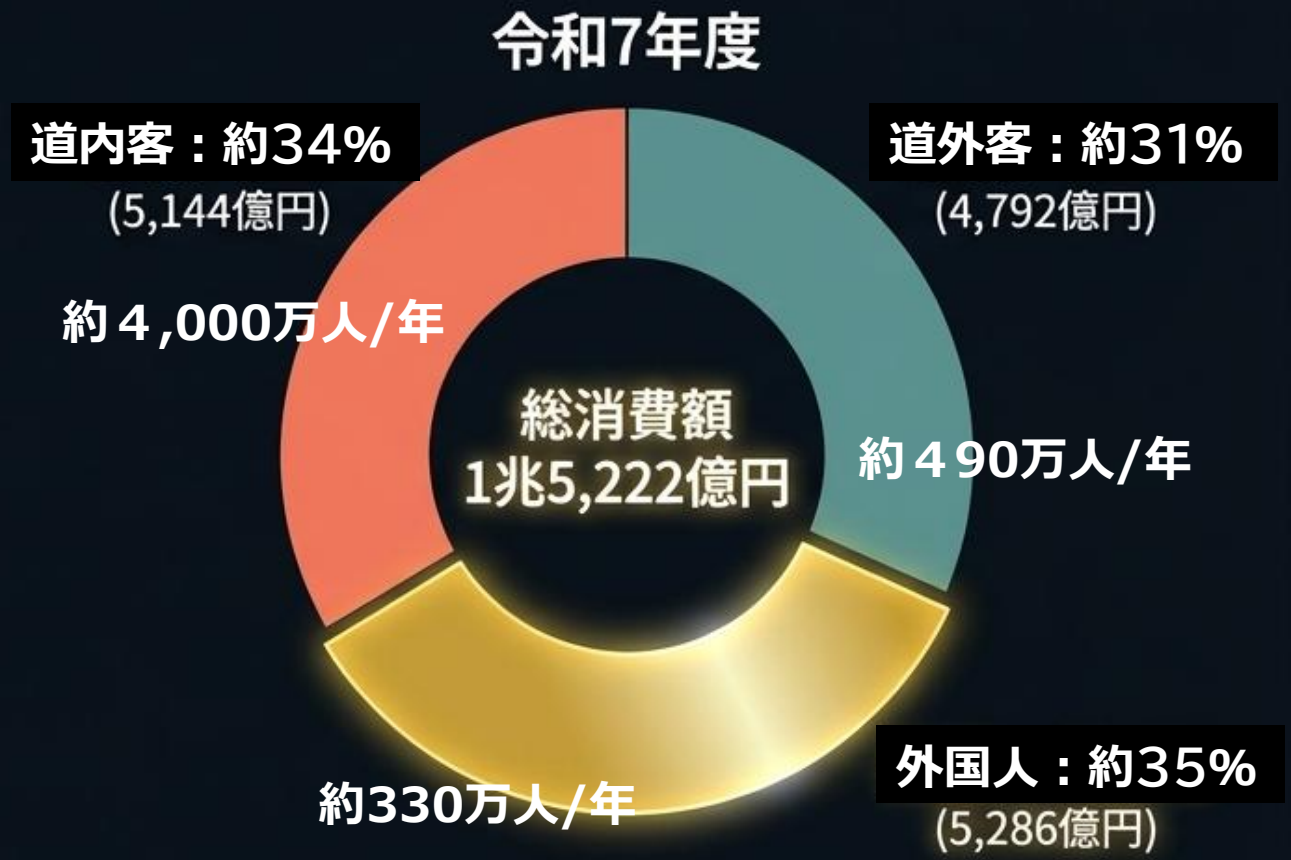
北海道観光機構
2026年11月

令和７年度 観光産業経済効果（確定版サマリー）

＜事業概要（令和7年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査）＞
●事業目的：① 国内観光客（道内客・道外客）、外国人観光客の観光・旅行の概要や北海道観光への期待度、満足度を把握し、今後の観光振興策の指針を得る。
② 旅行予算を把握し、北海道観光がもたらす地域経済への波及効果を推計する。
●調査方法：全調査地点に調査員を配置し、アンケート回答の依頼と回収を行った。回答は主に「自記入」
（その場で回答者自ら記入し、その場で調査員が回収する）としたが、回答者の希望により「面接聴取法」も併用する。
●サンプル数：有効回答数　4,566件を取得（内訳：道内客 1,144件、道外客　1,173件、外国人　2,191件）
●調査項目：プロフィール（居住地、年代、職業、年収等）、旅行形態（日程、人数等）、旅行内訳（消費額、観光ルート等）、旅行期待度、旅行満足度等。
●調査期間：令和7年7月7日～令和8年2月15日

令和７年度観光総諸費額は、対前年101.3%





＜トピックス＞
・来訪者数では、道内客・道外客ともに減少するが、外国人客は増加（＋約50万人）
・消費額ベースで外国人客が全体の約35%となり、道内客・道外客の消費額を超過。

◆トピックス 令和7年度道内観光産業による経済波及効果について【確定版】

HTO HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION

<令和７年度・調査推計結果>

1. 観光入込客数

■道内客…前年度（令和6年度）に比べて日帰り客、宿泊客ともに減少
　日帰り客　3,126万人（前年度比 約238万人減）
　宿泊客　668万人（同 約122万人減）
　その他　156万人　注）道民の道外旅行、海外旅行の道内消費人数。今年度実施した道民の道外・海外旅行実態調査に基づく推計値を用いた。

■道外客…前年度に比べて減少
　日帰り客　5万人（前年度比 約6万人減）
　宿泊客　483万人（同 約33万人減）

■外国人客…前年度から増加
　宿泊客　331万人（前年度比 約48万人減）

■　観光入込客数（実人数）

（人）		2019年度 実績値 ※コロナ禍前	前々回調査 令和5年度（実績値）	前回調査 令和6年度（実績値）	今回調査 令和７年度（実績値）	前年度比 増減	備　考
道内客	日帰り客	35,070,000	32,150,000	33,640,000	31,260,000	△ 2,380,000	1)観光客数は「北海道観光入込客数調査報告書」（北海道経済部観光局）を用いている。 2)道内の「その他」は道外や海外への旅行に関わるものであり、今年度は第6回北海道観光産業経済効果調査（平成29年）以後、初めて「道民調査」を実施した推定値を用いた。
	宿泊客	9,340,000	8,230,000	7,900,000	6,680,000	△ 1,220,000	
	その他	2,144,000	2,144,000	2,144,000	1,590,000	△ 554,000	
	全体	46,554,000	42,524,000	43,684,000	39,530,000	△ 4,154,000	
道外客	日帰り客	190,000	110,000	110,000	50,000	△ 60,000	
	宿泊客	5,730,000	4,940,000	5,160,000	4,830,000	△ 330,000	
	全体	5,920,000	5,050,000	5,270,000	4,880,000	△ 390,000	
外国人		2,440,000	2,340,000	2,830,000	3,305,400	475,400	

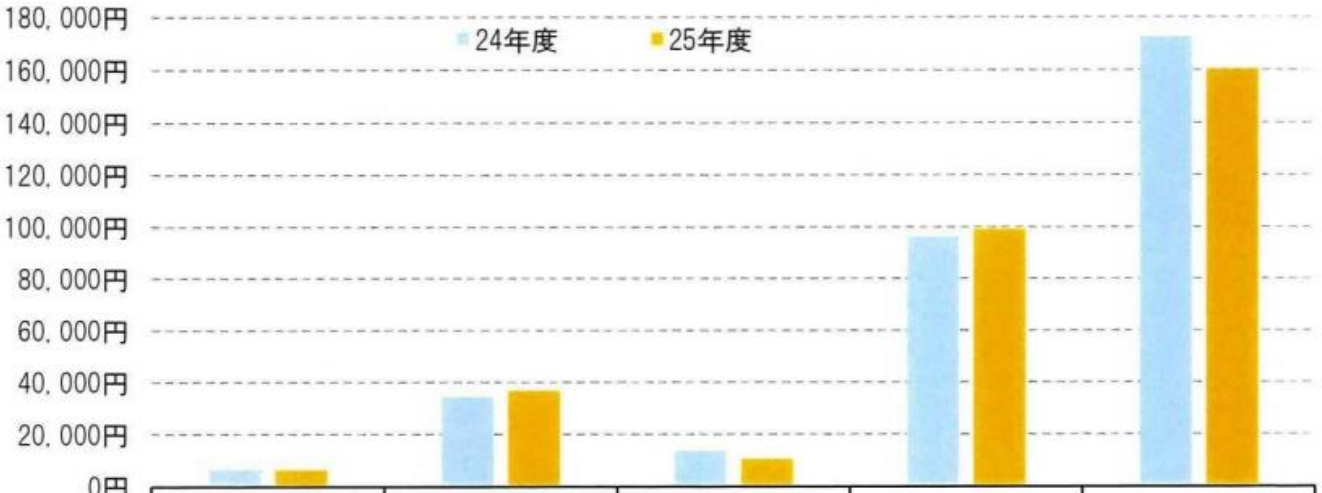
◆トピックス 令和7年度道内観光産業による経済波及効果について【確定版】

HTO HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION

2. 道内観光消費額単価の推移

- 道内客・道外客の各調査で得られた消費額の分野別支出構成比は下図のようになる。
- 道内日帰り客では、「交通費」と「飲食費」が1／3ずつで、「買い物代」が3割弱である。
- 道内宿泊客は、4割が「宿泊費」に充てられ、「交通費」、「飲食費」の順である。「買い物費」の割合は、日帰り客の半分程度に留まる。
- 来道者の中心である道外客・宿泊客は、1／3が「宿泊費」に充てられ、「飲食費」と「交通費」が1／4ずつを占める。
- 外国人客は、4割が「宿泊費」に充てられ、「飲食費」が1／4、「交通費」が2割弱を占める。

■ 投入単価の推移
（パッケージ料金に含まれる道内消費分等を含む消費額）



	道内客（日帰）	道内客（宿泊）	道外客（日帰）	道外客（宿泊）	外国人
24年度	6,361	34,331	13,500	96,114	171,954
25年度	6,348	36,839	10,625	99,102	159,925

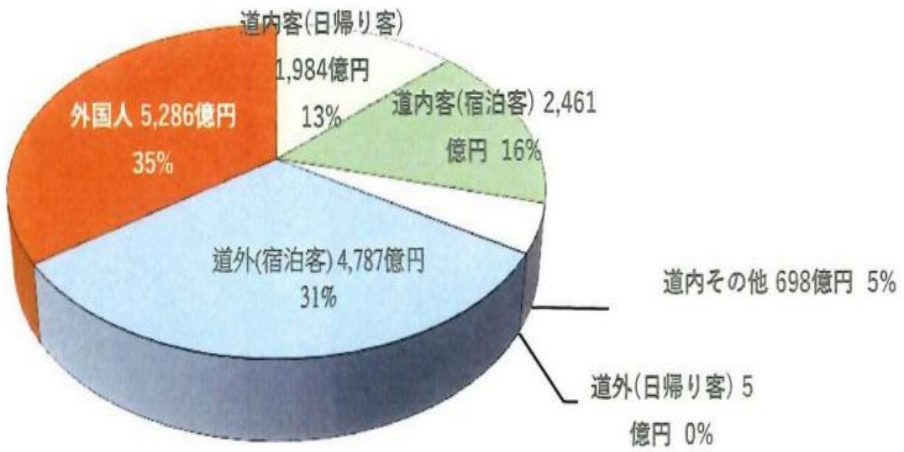
		道内客		道外客		外国客
		日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
25年度	合計	6,348	36,839	10,625	99,102	159,925
	①交通費	2,220	7,850	2,500	21,030	29,671
	②宿泊費	0	15,428	0	34,923	57,737
	③飲食費	2,080	7,958	4,000	24,352	36,201
	④買い物	1,730	4,457	3,750	13,074	23,969
	⑤娯楽等サービス	317	1,049	375	5,090	11,413
	⑥その他	2	97	0	632	934
24年度	合計	6,361	34,331	13,500	96,114	171,954
	①交通費	2,282	8,689	4,500	23,020	30,290
	②宿泊費	0	13,259	0	30,278	66,604
	③飲食費	1,978	6,756	6,833	21,529	38,271
	④買い物	1,719	4,348	1,667	14,890	27,924
	⑤娯楽等サービス	368	1,269	500	5,577	8,140
	⑥その他	15	10	0	820	726
増減率	合計	▲0.2%	7.3%	▲21.3%	3.1%	▲7.0%
	①交通費	▲2.7%	▲9.7%	▲44.4%	▲8.6%	▲2.0%
	②宿泊費	－	16.4%	－	15.3%	▲13.3%
	③飲食費	5.2%	17.8%	▲41.5%	13.1%	▲5.4%
	④買い物	0.6%	2.5%	125.0%	▲12.2%	▲14.2%
	⑤娯楽等サービス	▲14.0%	▲17.4%	▲25.0%	▲8.7%	40.2%
	⑥その他	▲83.8%	829.7%	0.0%	▲22.9%	28.7%

◆トピックス 令和7年度道内観光産業による経済波及効果について【確定版】

HTO HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION

3. 観光総消費額推計

- 観光消費単価と観光入込客数(実人数)を乗じて、下表のように総観光消費額を推計した。
- 総観光消費額は、1兆5,222億円程度となり、昨年(1兆5,033億円)から約189億円、約1.3%程度の増加となった。
- 観光消費額の構成は、道内観光客(日帰り・宿泊・その他)が、全体の約34%(計5,144億円)
- 道外観光客(日帰り・宿泊)が、全体の約31%(計4,792億円)
- 外国人客は、入込数が増加し。全体の約35%(約5,286億円)を占め、消費額上で道内客、道外客を超過。



■ 道内観光消費額

			道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
a	年間観光客数	R7年度	3,126万人	668万人	159万人	3,953万人	5万人	483万人	488万人	331万人	4,772万人
		R6年度	3,364万人	790万人	214万人	4,368万人	11万人	516万人	527万人	283万人	5,178万人
		増減	▲ 238万人	▲ 122万人	▲ 55万人	▲ 415万人	▲ 6万人	▲ 33万人	▲ 39万人	48万人	▲ 406万人
b	道内観光消費額単価(推計用調整値) (1人)	R7年度	6,348円	36,839円	43,919円	-	10,625円	99,102円	-	159,925円	-
		R6年度	6,361円	34,331円	15,853円	-	13,500円	96,114円	-	171,954円	-
		増減	▲ 13円	2,508円	28,066円	-	▲ 2,875円	2,988円	-	▲ 12,029円	-
c	道内観光総消費額(a×b)	R7年度	1,984億円	2,461億円	698億円	5,144億円	5億円	4,787億円	4,792億円	5,286億円	15,222億円
		R6年度	2,140億円	2,712億円	340億円	5,192億円	15億円	4,959億円	4,974億円	4,866億円	15,033億円
		増減	▲ 156億円	▲ 251億円	358億円	▲ 48億円	▲ 10億円	▲ 172億円	▲ 182億円	420億円	189億円
構成比(%)		R7年度	13.0%	16.2%	4.6%	33.8%	0.0%	31.4%	31.5%	34.7%	100.0%
		R6年度	14.2%	18.0%	2.3%	34.5%	0.1%	33.0%	33.1%	32.4%	100.0%

■ 分野別観光消費額

		観光入込客数	支出内訳						合計
			①交通費	②宿泊費	③飲食費	④買い物費	⑥娯楽等サービス	⑤その他費用	
道内客	日帰り客	3,126万人	694億円	0億円	650億円	541億円	99億円	1億円	1,984億円
	宿泊客	668万人	524億円	1,031億円	532億円	298億円	70億円	7億円	2,461億円
	その他	159万人	308億円	26億円	9億円	259億円	0億円	97億円	698億円
	合計	3,953万人	1,526億円	1,057億円	1,190億円	1,097億円	169億円	104億円	5,144億円
道外客	日帰り客	5万人	1億円	0億円	2億円	2億円	0億円	0億円	5億円
	宿泊客	483万人	1,016億円	1,687億円	1,176億円	631億円	246億円	31億円	4,787億円
	合計	488万人	1,017億円	1,687億円	1,178億円	633億円	246億円	31億円	4,792億円
外国人		331万人	981億円	1,908億円	1,197億円	792億円	377億円	31億円	5,286億円
合計		4,772万人	3,524億円	4,652億円	3,565億円	2,523億円	792億円	166億円	15,222億円

- 分野別の観光諸費額は、右表のように宿泊費(4,652億円)、が最大で、交通費(3,524億円)、飲食費(3,565億円)、買い物費(2,523億円)が次ぐ。
- 各種の観光施設利用やアクティビティ等に要する娯楽等サービス(792億円)は、引き続き、1千億円未満に留まっており、更なる単価の向上が課題。

◆トピックス 令和7年度道内観光産業による経済波及効果について【確定版】

HTO HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION

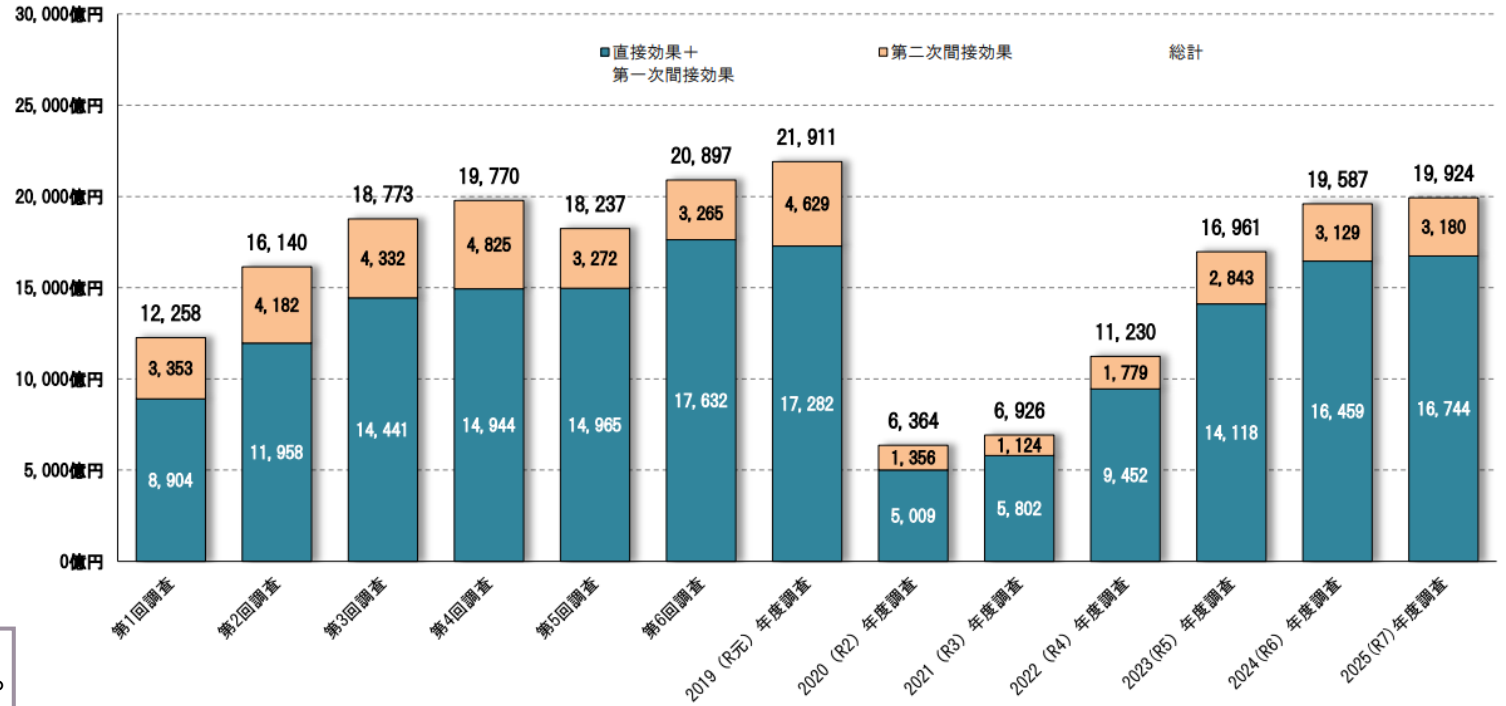
4. 観光総消費額推計

- 観光総諸費額 1兆5,222億円がもたらす経済波及効果は右表のように集約される。
- 経済波及効果（生産誘発額）は、1兆9,924億円と推計され、昨年度（1兆9,588億円）を上回った。（観光消費総額に対する乗数効果は、1.31）
- 観光消費により生じる生産活動において発生する「直接効果」は、1兆1,147億円、更に道内の生産やサービス活度に波及する「第一次波及（間接）効果」は、5,597億円となる。
- さらに、新たな雇用者所得等の増加によって生み出される「第二次波及（間接）効果」が、3,180億円と推計された。
- 経済波及効果（生産誘発額）の推移は、下図の通りである。

■ 観光による経済波及効果（要約）

経済波及効果	1,992,379百万円発生				
観光ＧＤＰ	549,821百万円押し上げ				
雇用者	171,910人／年の新規雇用者を誘発				
税収	38,667百万円の税収効果				
	生産誘発額（百万円）	粗付加価値（百万円）	所得誘発額（百万円）	雇用誘発数（人）	税収効果（百万円）
直接効果	1,114,744	549,821	299,320	113,299	22,191
１次波及効果	559,676	311,731	133,616	36,707	10,353
２次波及効果	317,959	204,724	79,648	21,904	6,124
合計	1,992,379	1,066,276	512,584	171,910	38,667

■ 観光による経済波及効果（生産誘発額）の推移



四捨五入の関係で個別数値と合計額が一致しない場合がある

※報告書詳細については、当機構観光統計データサイトを参照ください。
https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/